

都道府県柔道連盟（協会）会長・安全指導員各位

重大事故総合対策委員
委員長 磯村 元信



ウイズ～アフターコロナにおける重大事故防止の徹底について

平素より当連盟事業にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

コロナ禍がゆるやかに終息に向かい社会活動が平常を取り戻し、柔道の練習や試合が通常通りに行われるようになるなかで、脳しんとうなどの頭部打撲の事故報告が急激に増加しています。コロナ禍の長期間のブランクや地域や学校ごとの練習量の格差が生じたための特徴的な傾向ではないかと危機感を強めています。

新年度に入った5月～7月が例年初心者の重大事故の最も発生しやすい時期であり、コロナ禍の影響と相まって重大事故の発生する確率が極めて高い期間に入っているものと考えられます。

こうした状況を踏まえ、以下の重大事故防止の留意点にもとづいて事故防止の対策に一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。特に、子ども及び柔道を始めたばかりの初心者には特段のご配慮をお願い申し上げます。

○ウイズ～アフターコロナの重大事故防止の留意点

- ・長引くコロナ禍の練習不足等で、例年に比べて基礎体力や筋力、受け身が十分に備わっていない状況があり、頭部や頸部の重大事故の発生が危惧される。
- ・基礎体力や筋力、受け身が十分に備わっているかを把握して無理のない範囲で練習や試合を行わせる。特に、子どもや初心者の練習や試合には特段の配慮を徹底する。
- ・日常の練習の中で特に受け身の練習を例年以上に徹底する。

○初心者の重大事故防止の徹底事項

- ・初心者には少なくとも3ヶ月程度は高い位置からの投げ込みを行わせない。
特にこの時期は初心者に大外刈りの投げ込みを受けさせない。
- ・大外刈りの高い位置からの投げ込み（受の両脚が宙に浮くような投げ込み）、および投げ技の乱取りは少なくとも5ヶ月程度経過してからとする。
- ・初心者は少なくとも6ヵ月程度は練習試合や試合への参加はさせない。

*重大事故の傾向を分析して対策を講じ、新たな事故を未然に防ぐためにも、頭部外傷・脳しんとう・頸部外傷・熱中症・その他の緊急入院を要した事故発生時には必ず所定の様式で全柔連への事故報告の徹底をお願いします。詳細は全柔連ホームページを参照してください。

以上